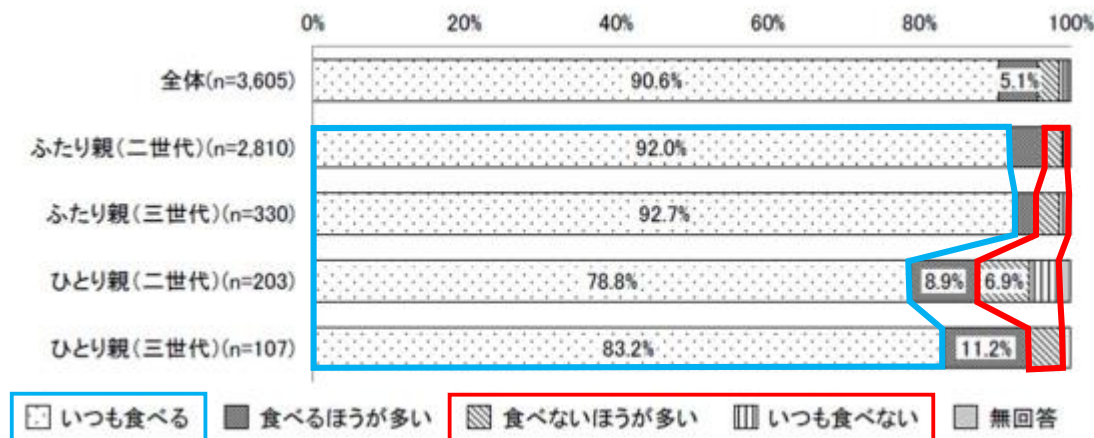


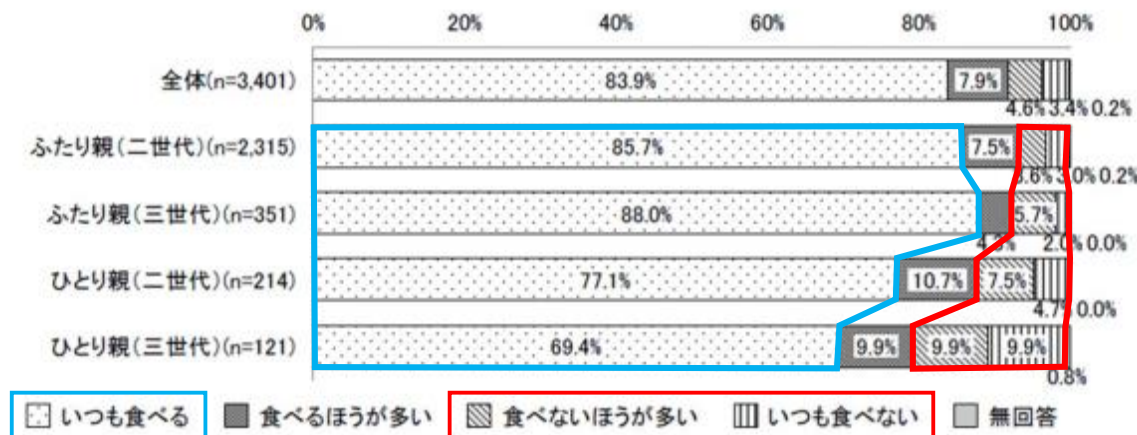
朝食の摂取状況（世帯タイプ別）

- 朝食を**毎日食べる**割合は、ふたり親世帯に比べ**ひとり親世帯**の方が**低い**。
 （「**食べない**ほうが多い／**食べない**」の割合は**ひとり親世帯**の方が**高い**。）

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)

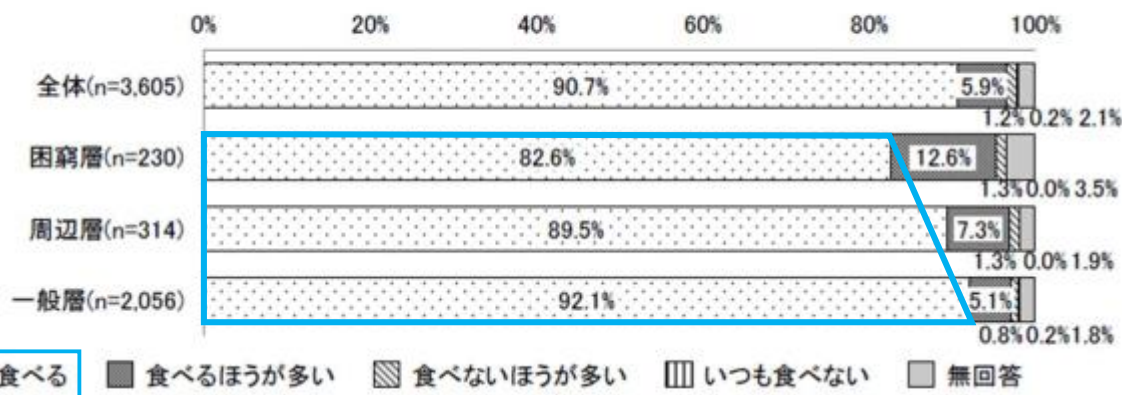


長期休暇中の昼食の摂取状況（生活困難度別）

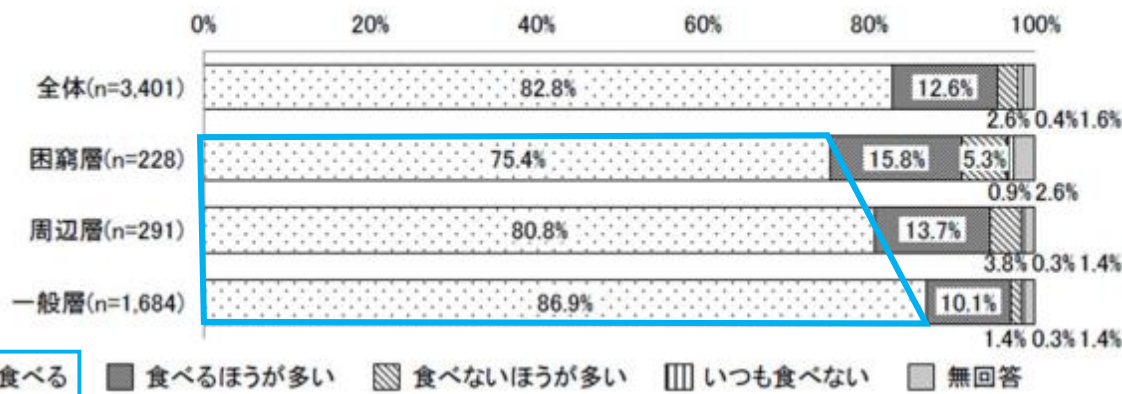
- 長期休暇中(夏休み等)に昼食を**毎日食べる**割合は、一般層に比べ**困窮層**の方が**低い**。

※「食べない」割合は大差なし

<小学生> (p<.01)



<中学生> (p<.01)



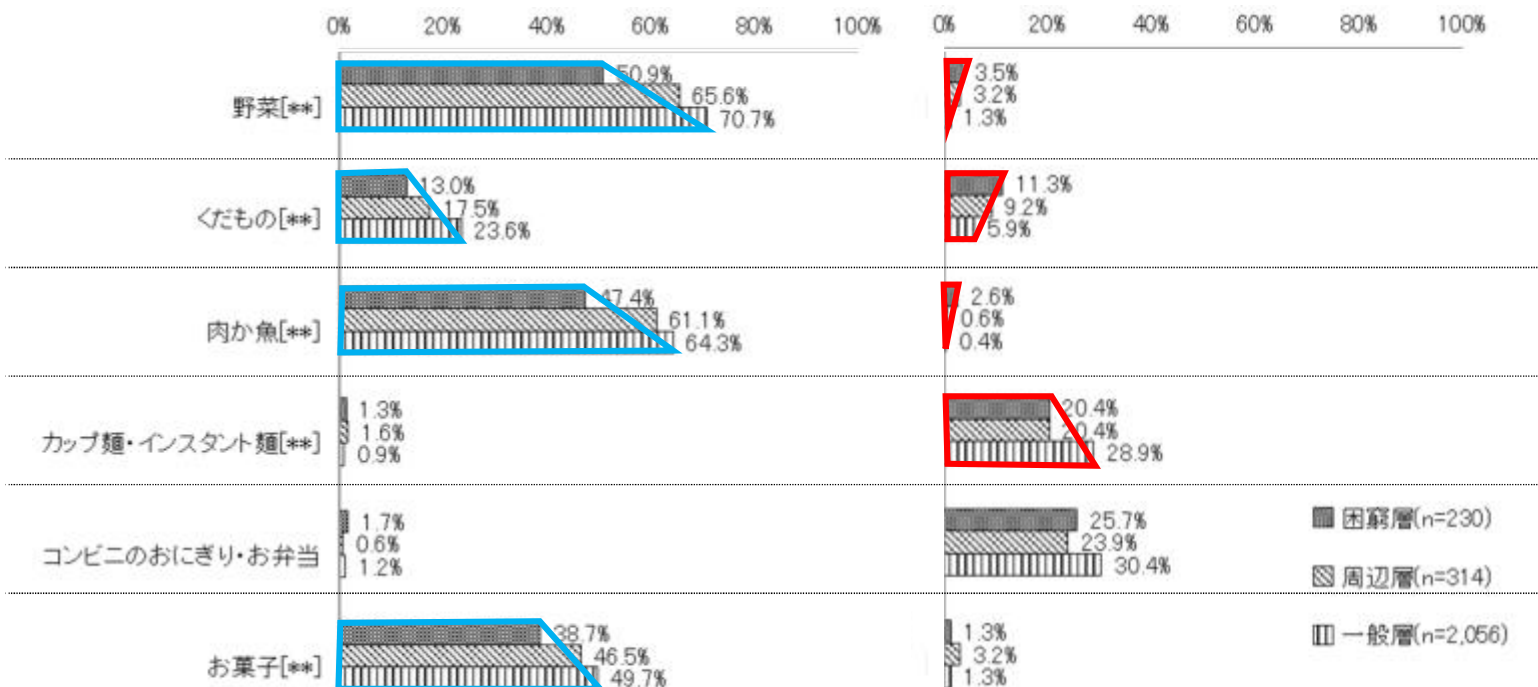
栄養バランス（食材別の摂取状況）

- 一般層に比べ**困窮層**では、**野菜、肉・魚**を「毎日食べる」割合が**低く、約15ポイント以上の差**がある。
 - 一方、**カップ麺・インスタント麺**を「**食べない**」割合は、**困窮層の方が低い**。（≡困窮層ほどカップ麺等をよく食べる傾向）
- ⇒**困窮層**ほど、**調理を要する食材**の摂取頻度が**低く、栄養バランスが偏っている可能性**

<小学生>

（「毎日食べる」）

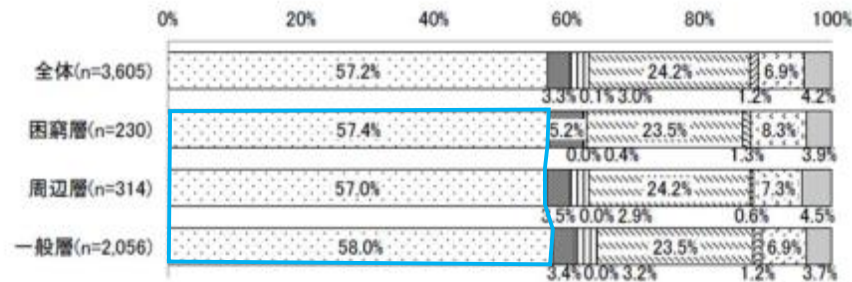
（「食べない」）←割合が低いほど「食べることが多い」



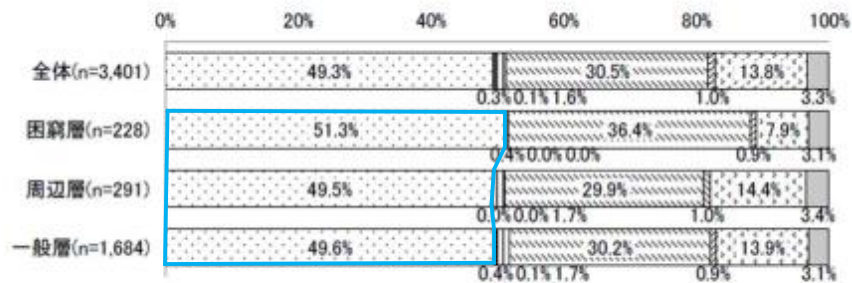
ふだんの放課後 一緒に過ごす「人」(生活困難度別)

- 放課後一緒に過ごす(時間が長い)人は、全ての層において「**家族**」が最も多く、**生活困難度**による**明確な差はみられない**。

<小学生> (有意差なし)



<中学生> (有意差なし)



家族

放課後児童クラブ、放課後子ども教室、児童館・こども館、青少年会館の職員

地域の居場所にいる人

その他の大人

学校の友だち

学校以外の友だち

ひとりでのいる

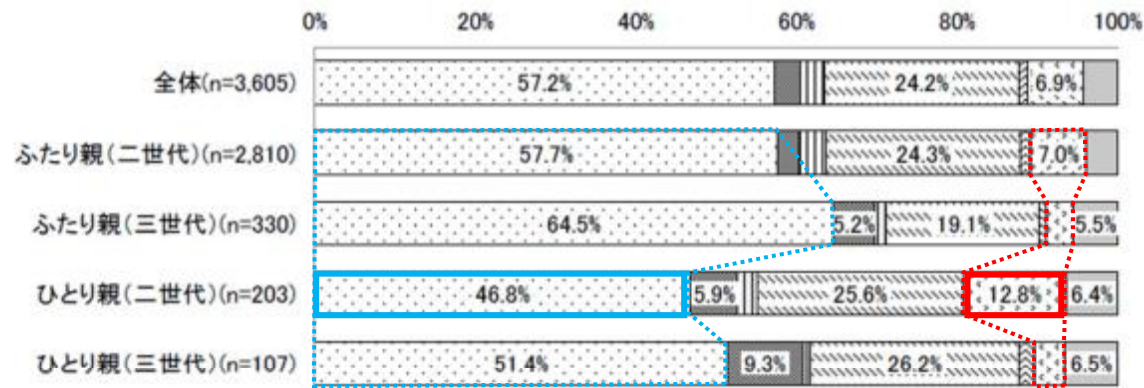
無回答



ふだんの放課後 一緒に過ごす「人」(世帯タイプ別)

- 放課後一緒に過ごす「人」について世帯タイプ別にみると、
小学生のひとり親世帯(二世帯)において「**家族**」の割合が**低く**、
「**ひとりでいる**」が**高く**なっている。※中学生は有意差なし

<小学生> (p<.01)



家族

放課後児童クラブ、放課後子ども教室、児童館・こども館、青少年会館の職員

地域の居場所にいる人

その他の大人

学校の友だち

学校以外の友だち

ひとりでいる

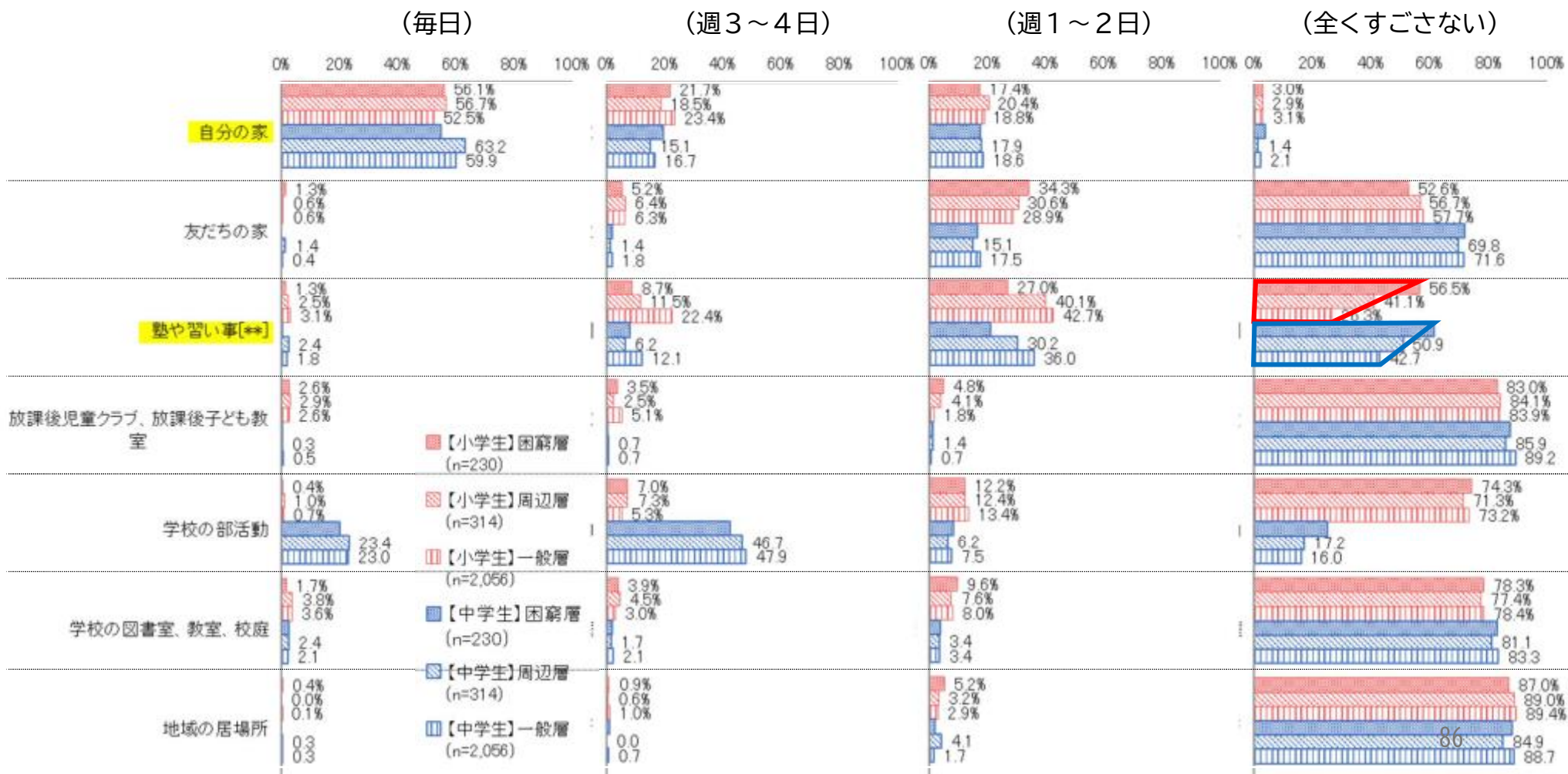
無回答



ふだんの放課後 過ごす「場所」①

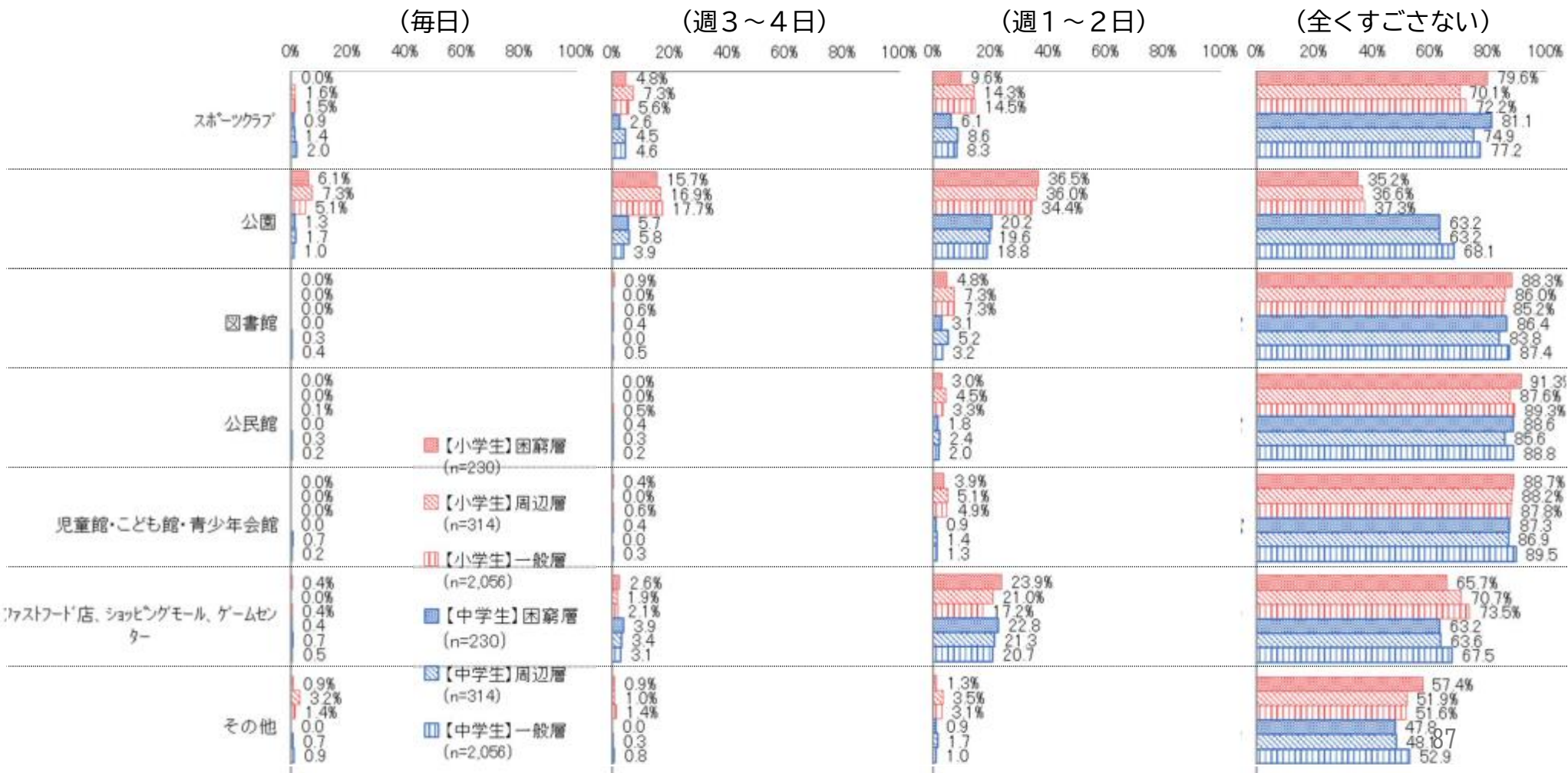
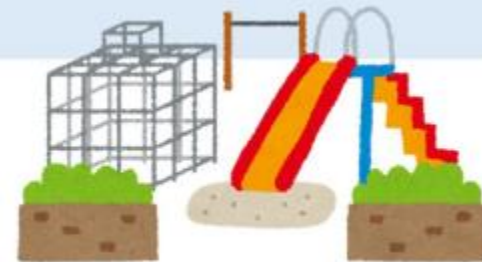


- 平日の放課後過ごす場所は、全ての層において
「自分の家」で「毎日(過ごす)」割合が高い。
- 「塾や習い事」は、**困窮層**ほど「過ごさない」割合が高い。



ふだんの放課後 過ごす「場所」②

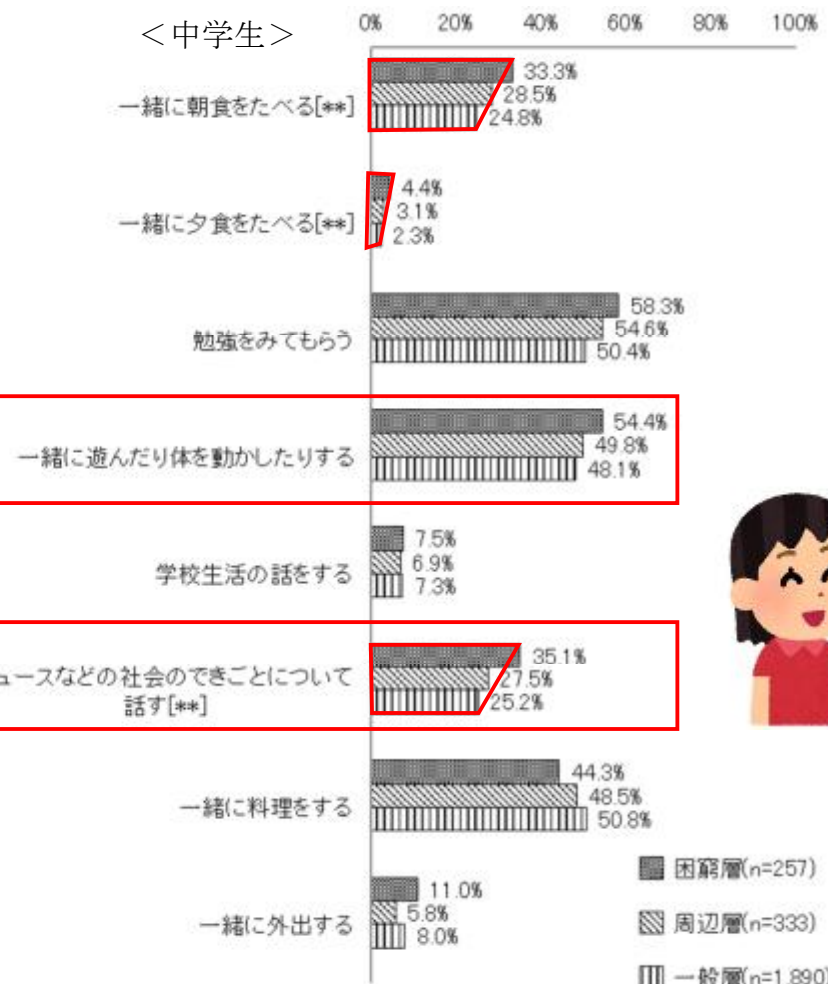
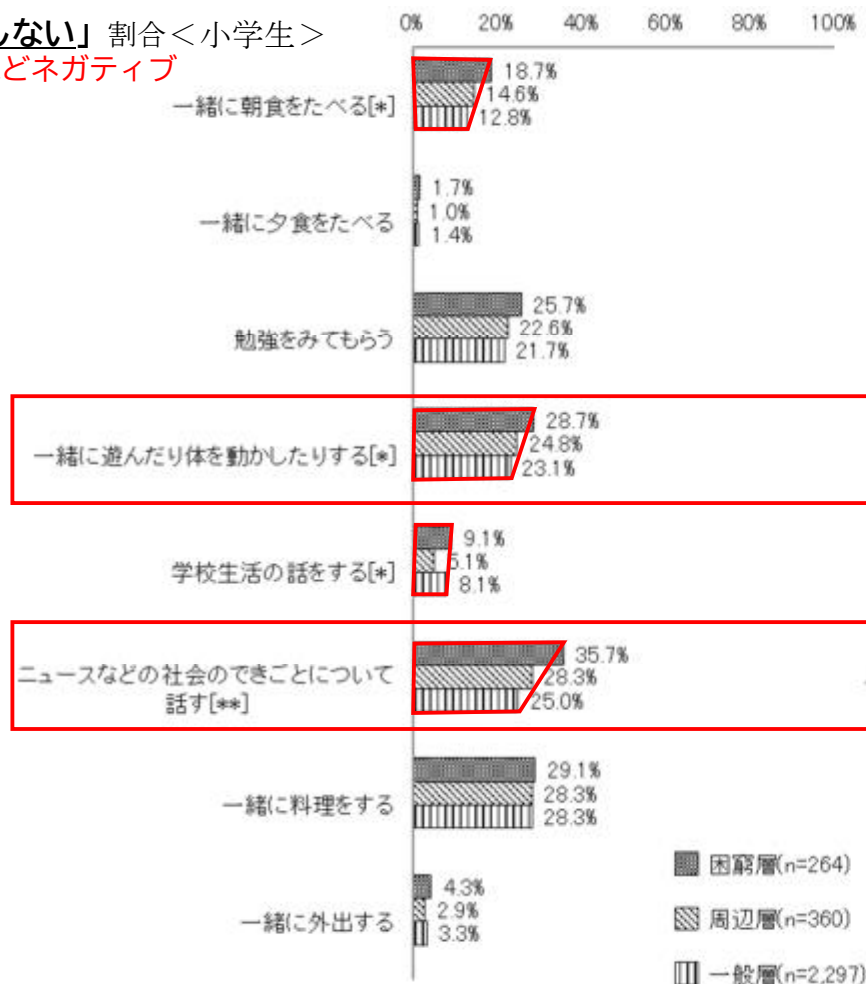
- 友だちの家、塾や習い事、学校の部活動、公園は、小学校と中学校とで回答割合の差が大きい。



(こどもによる)おうちの大人との関わり (「しない」割合)

- 一般層に比べ**困窮層**では、一緒に朝食をたべたり、ニュースなど社会の出来事の話をする事等、**おうちの大人とのコミュニケーションの機会が少ない**傾向。

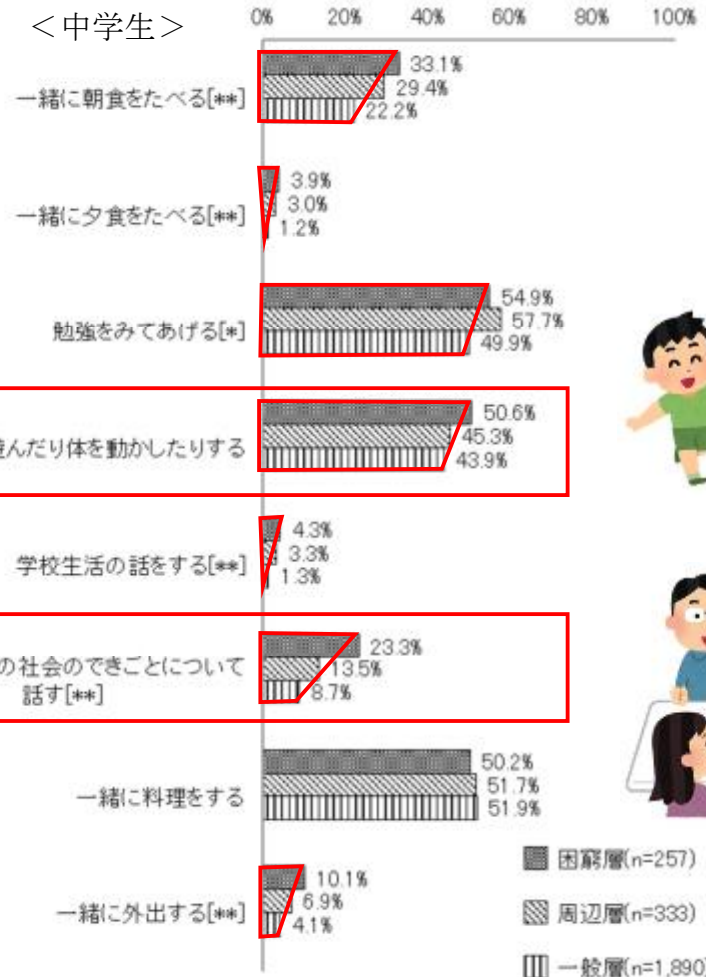
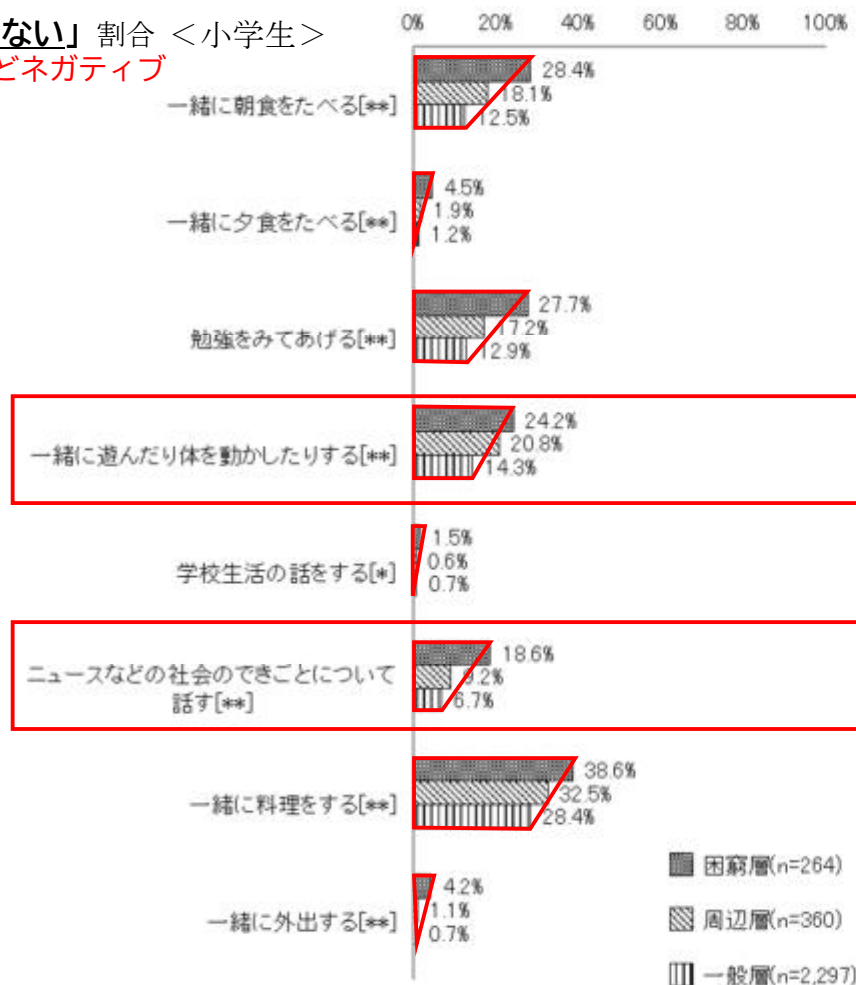
※「ほぼしない」割合<小学生>
⇒高いほどネガティブ



(保護者による)こどもへの関わり (「しない」割合)

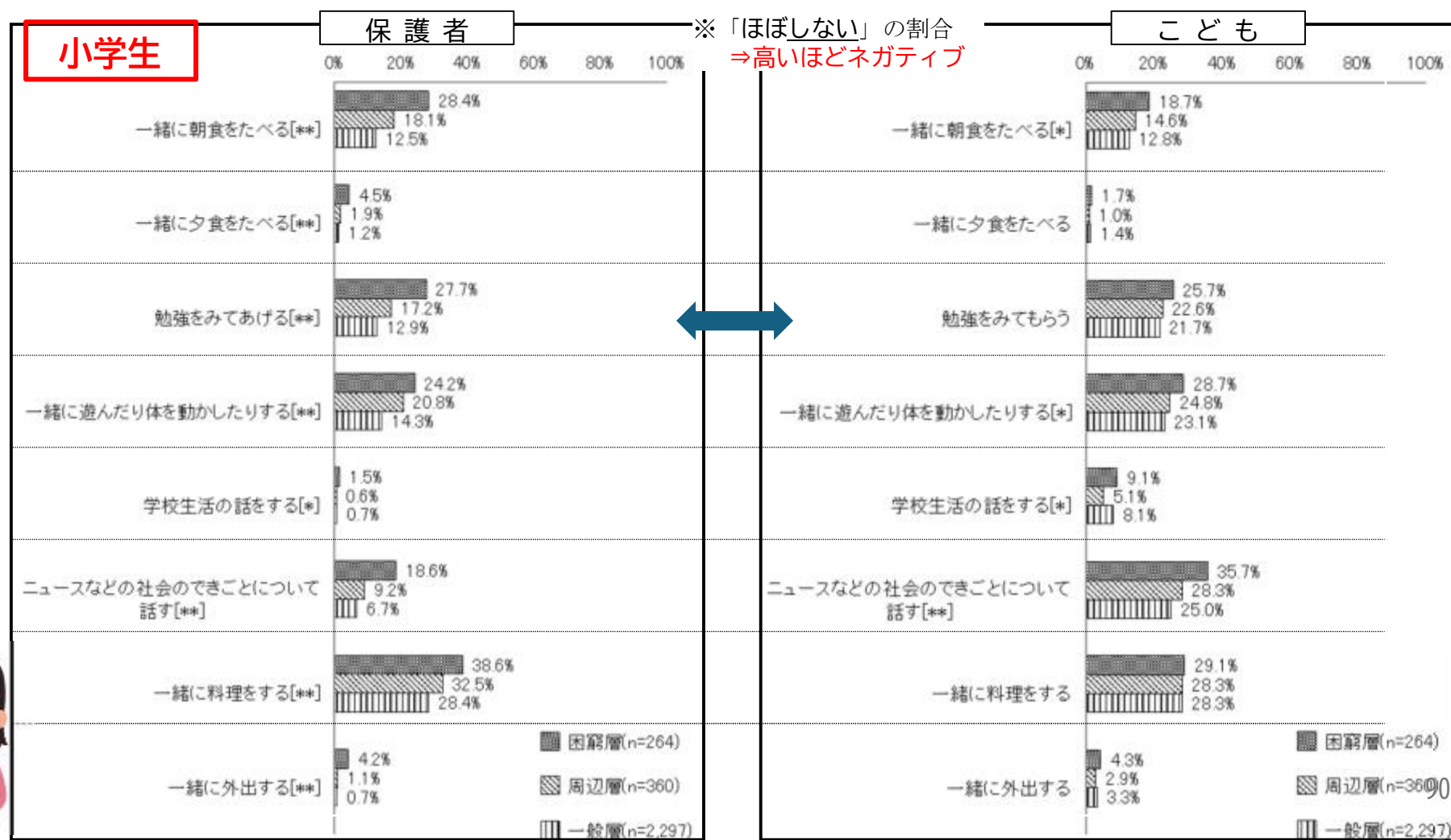
- 一般層に比べ**困窮層**では、一緒に遊んだり体を動かしたり、ニュースなど社会の出来事の話をする事等の**こどもとのコミュニケーションの機会が少ない**傾向。

※「ほぼしない」割合 <小学生>
⇒高いほどネガティブ



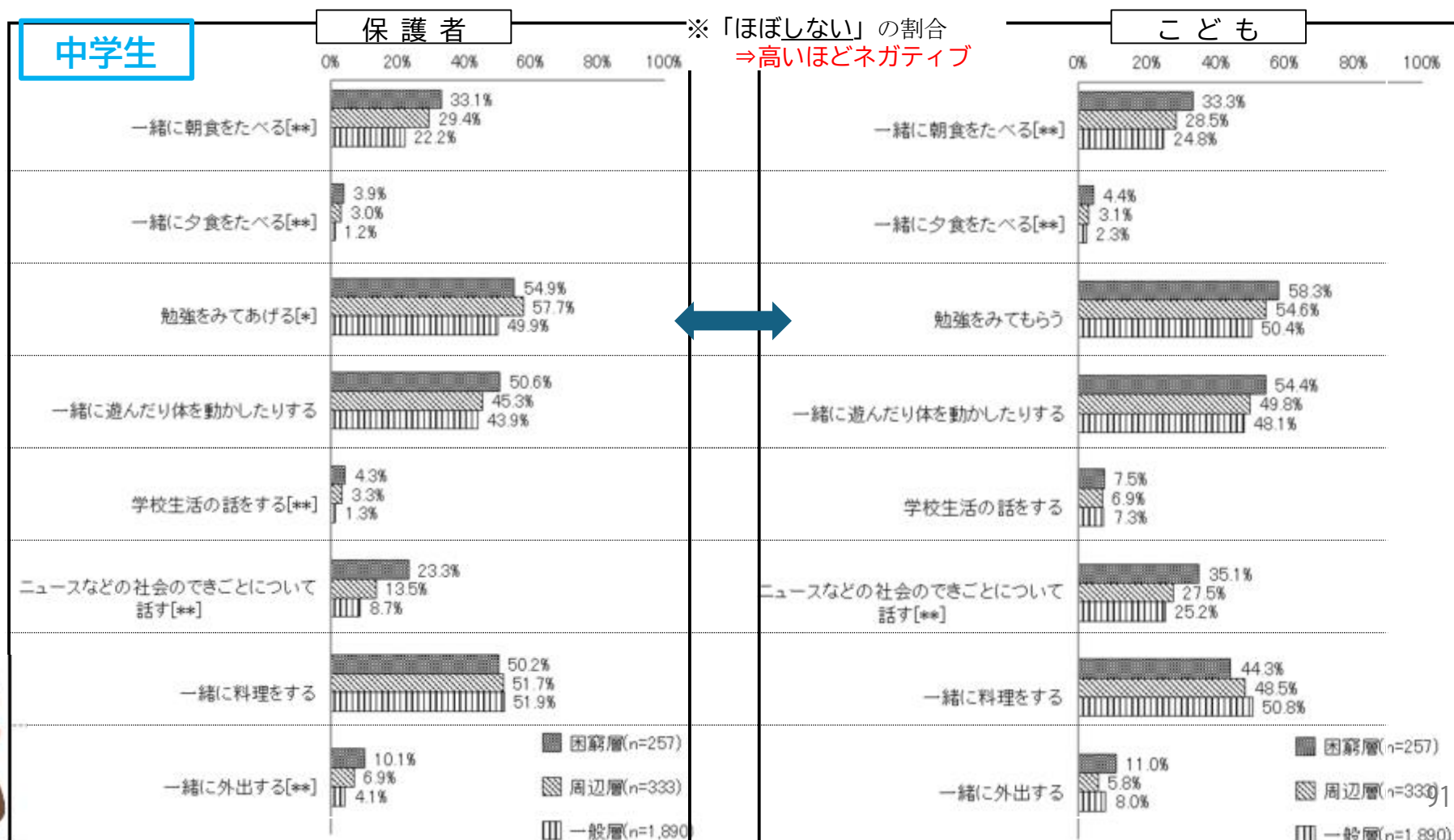
【+α】 家庭内のコミュニケーション(保護者目線⇔こども目線)

- 「家庭内のコミュニケーション等」の設問について、保護者と子の回答を比較したところ、**回答傾向はおおむね一致**していた。



【+α】 家庭内のコミュニケーション(保護者目線⇔こども目線)

- 「家庭内のコミュニケーション等」の設問について、保護者と子の回答を比較したところ、**回答傾向はおおむね一致**していた。

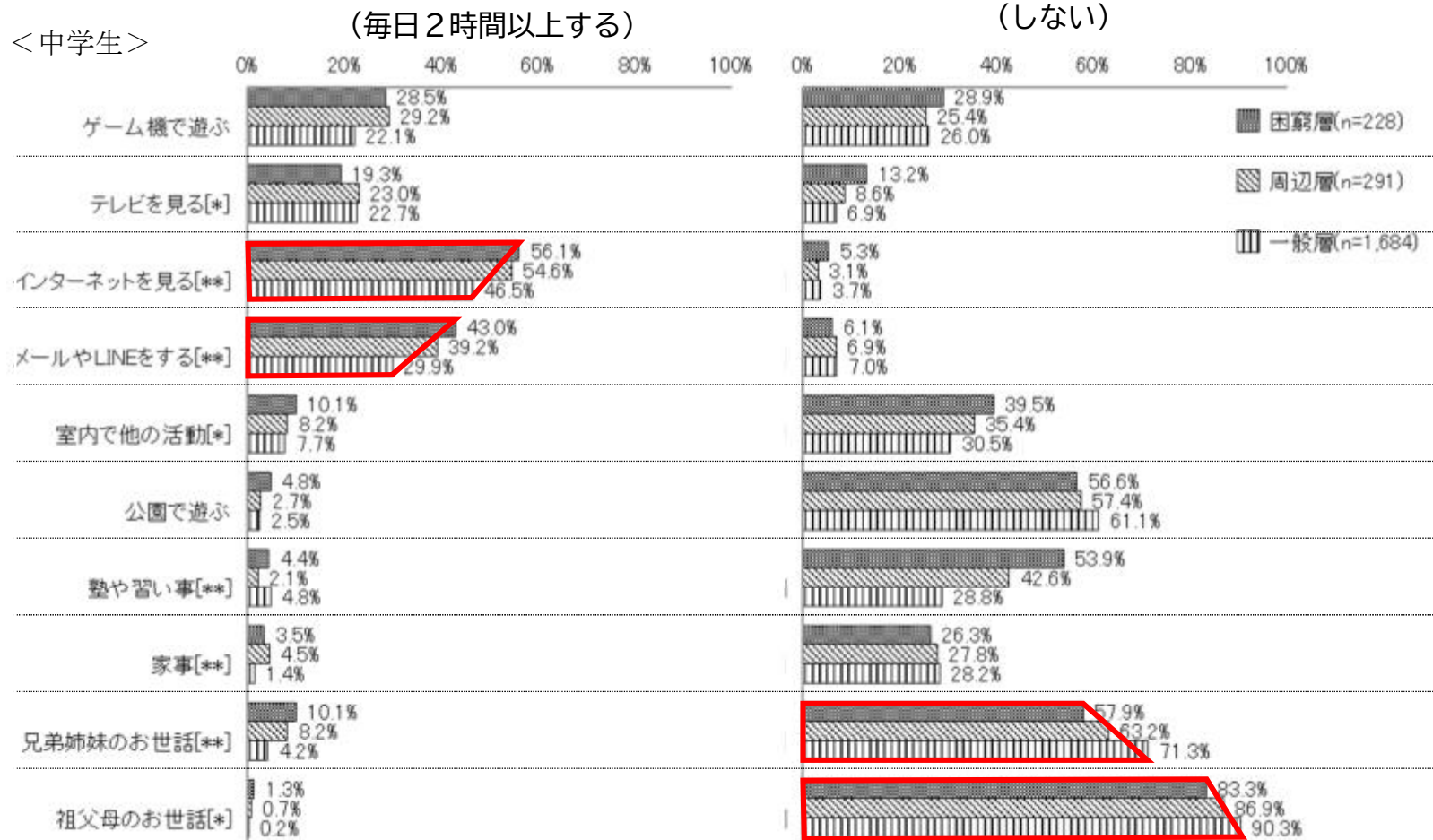


ふだんの活動

- 中学生では、一般層に比べ**困窮層**において、インターネットやメール・LINEを「毎日2時間以上する」割合が高い。

- 一方、兄弟姉妹や祖父母のお世話を「しない」割合は**困窮層**の方が低い。

⇒**困窮層**ほど**家族のお世話**をしている傾向

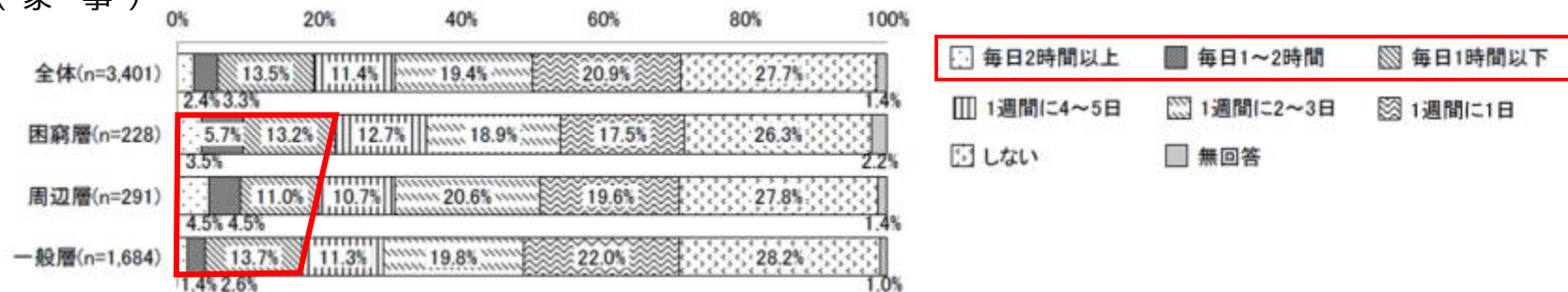


(参考)

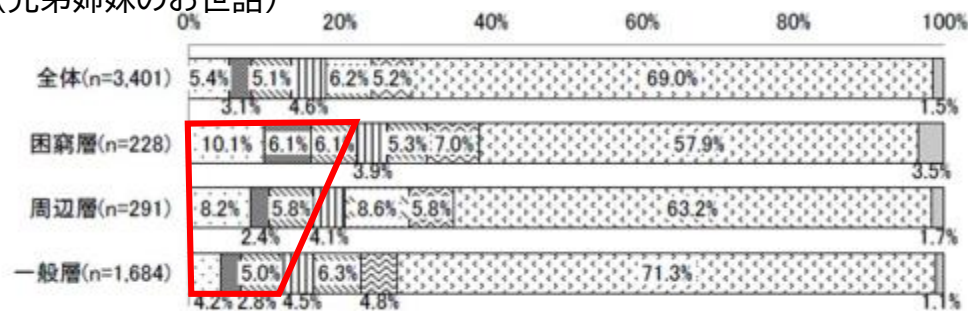
家事や家族の世話に関する回答状況

- 中学生では、家事や家族の世話を「毎日している」割合は、**困窮層**の方が**高い**。

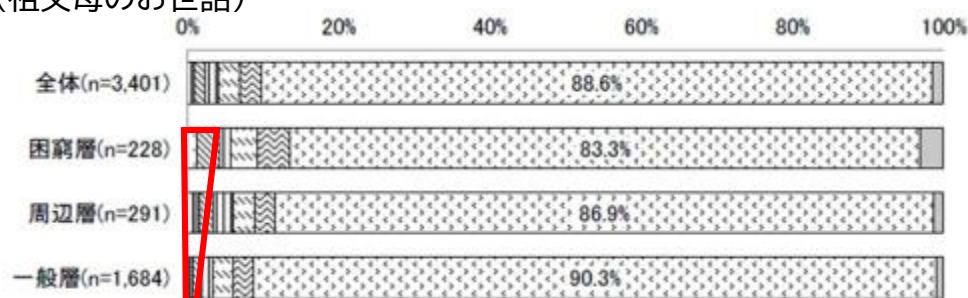
(家事)



(兄弟姉妹のお世話)



(祖父母のお世話)



読んだ本の数

- 1 か月の間に読んだ本の数について、

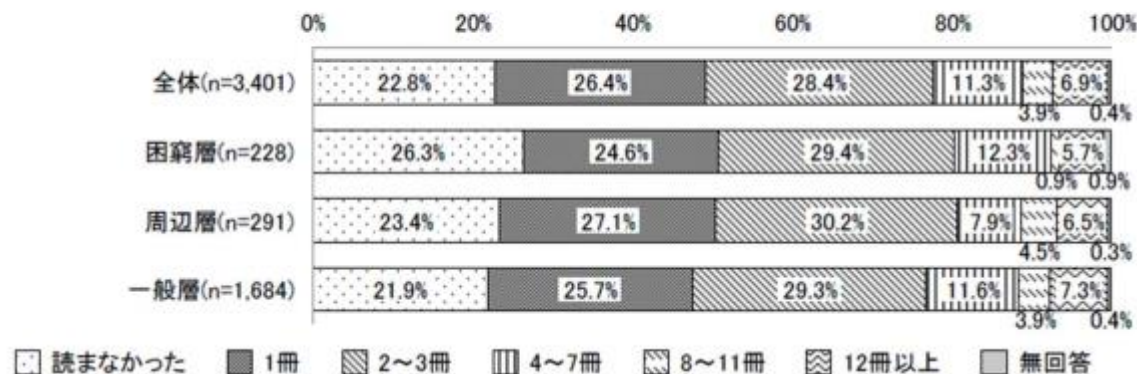
小学生では、一般層に比べ**困窮層**において「**読まなかった**」割合が**高い**。

※中学生は有意差なし

<小学生> (p<.01)

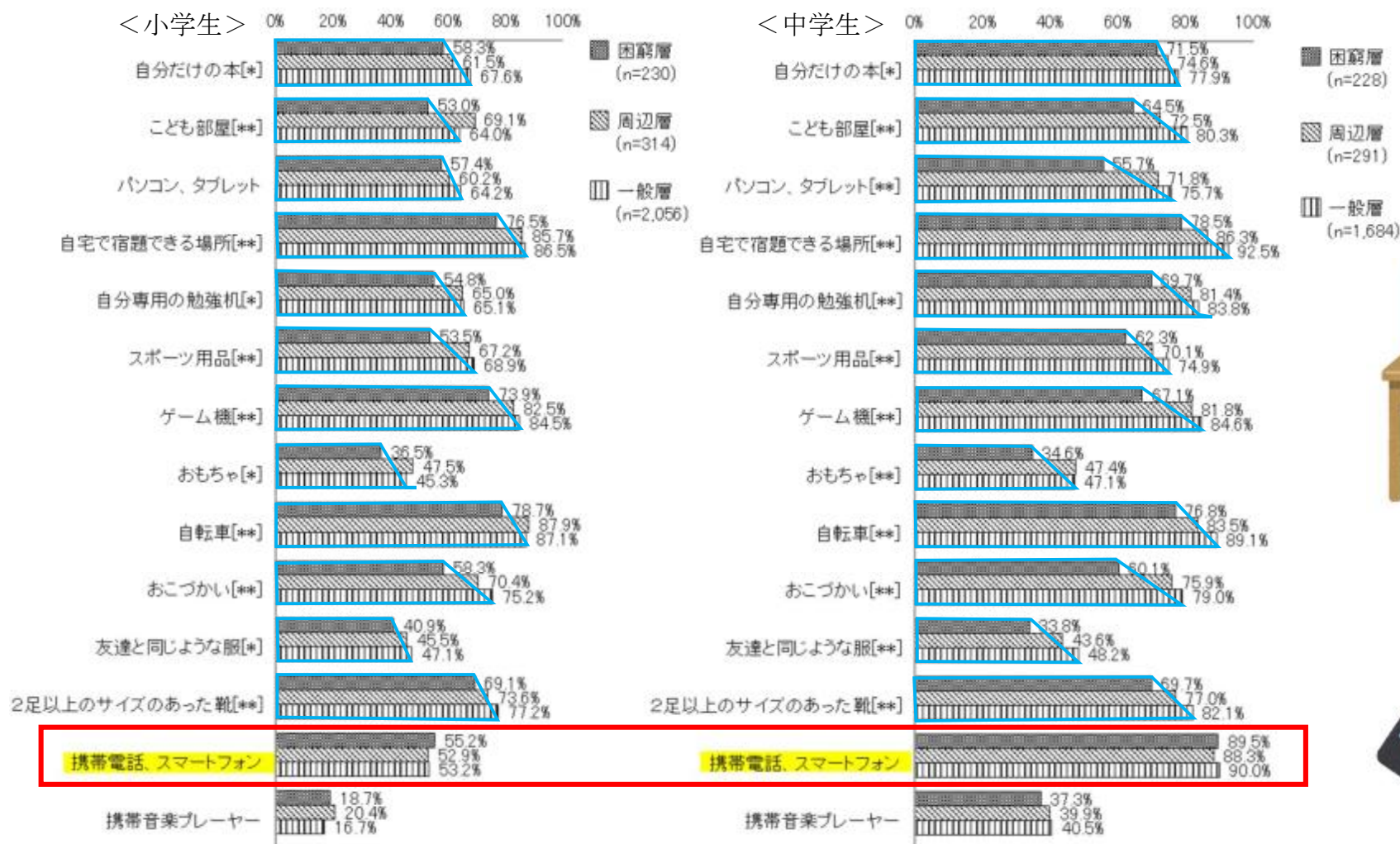


<中学生> (有意差なし)



こどもの所有物

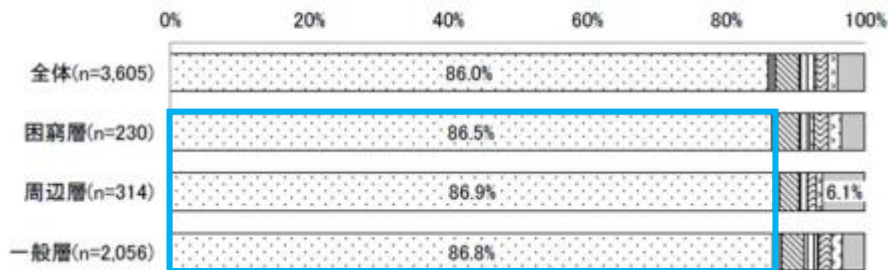
- ・ ほぼ全項目で**困窮層**ほど「**所有している**」割合が**低い**。(≡持っていない)
- ・ 「**携帯電話、スマートフォン**」は**生活困難度**による**差がみられない**。
⇒スマホは、こどもにとっても**必需品**となっている。⇒**貧困は見た目では気づきにくい**。



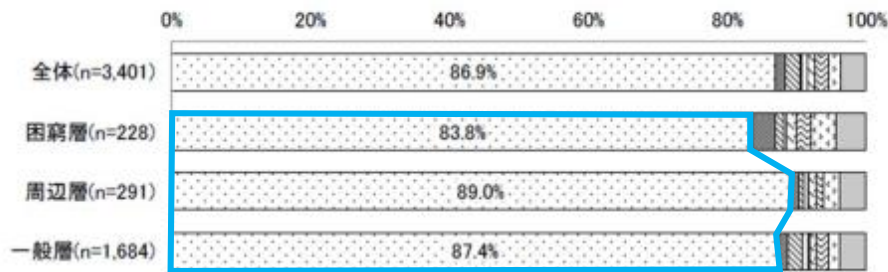
一番仲が良い友だち

- 一番仲が良い友だちは、全ての層において「学校の友だち」が最も多く、生活困難度による明確な差はみられなかった。

<小学生> (有意差なし)



<中学生> (有意差なし)



□ 学校の友だち

▨ 学校外のスポーツチームやクラブの友だち

▤ インターネット上の友だち

□ とくに仲の良い友だちはいない

■ 学校はいいじゃないが、近所に住んでいる友だち

▧ 塾や習い事の友だち

▦ その他の友だち

■ 無回答



ふだんの話し相手

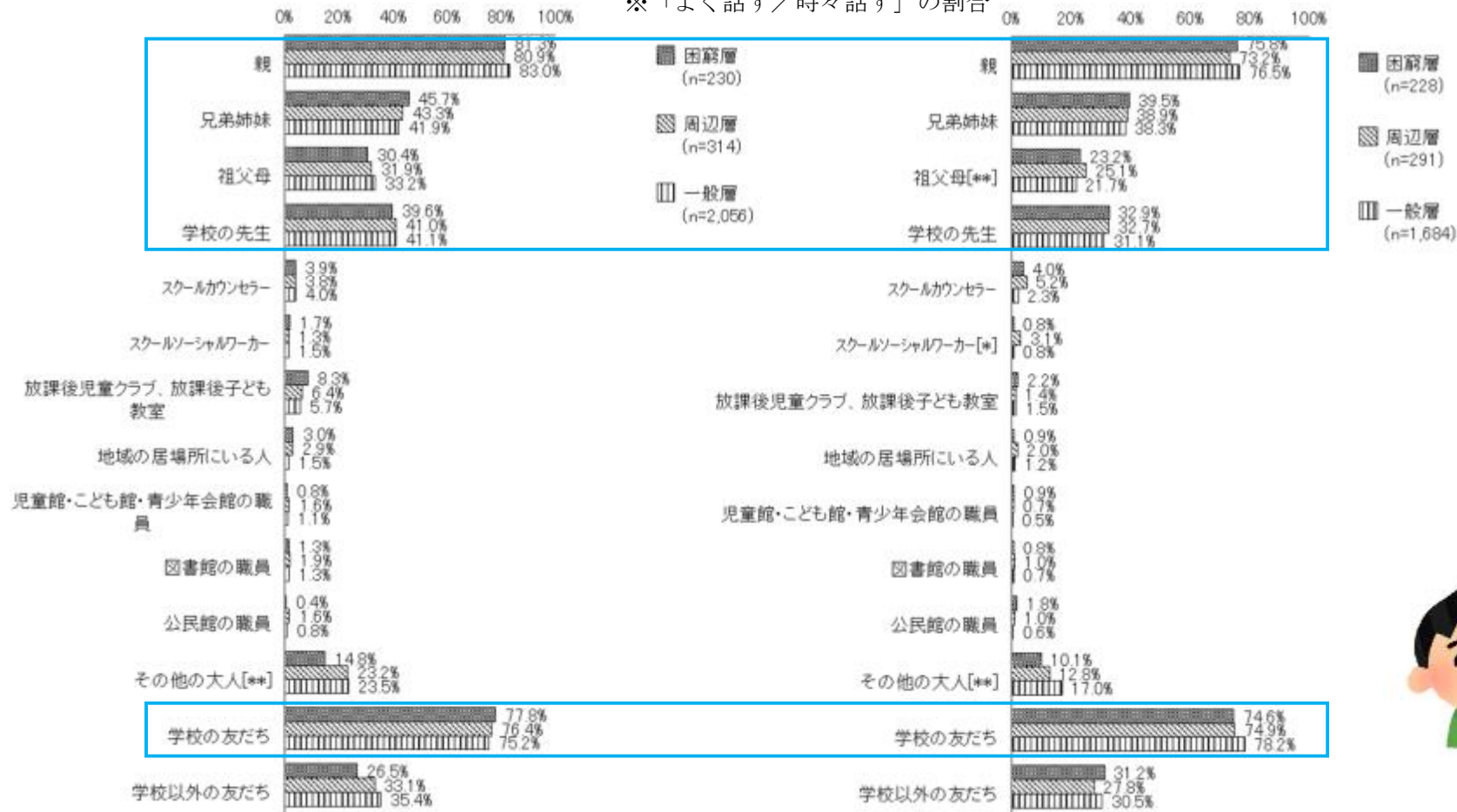
- ふだんの話し相手については、全ての層において

①親→②学校の友だち→③兄弟姉妹→④学校の先生の順に多く、
一部を除き生活困難度による差はみられない。

＜小学生＞

※「よく話す／時々話す」の割合

＜中学生＞



学校生活に関する悩み等

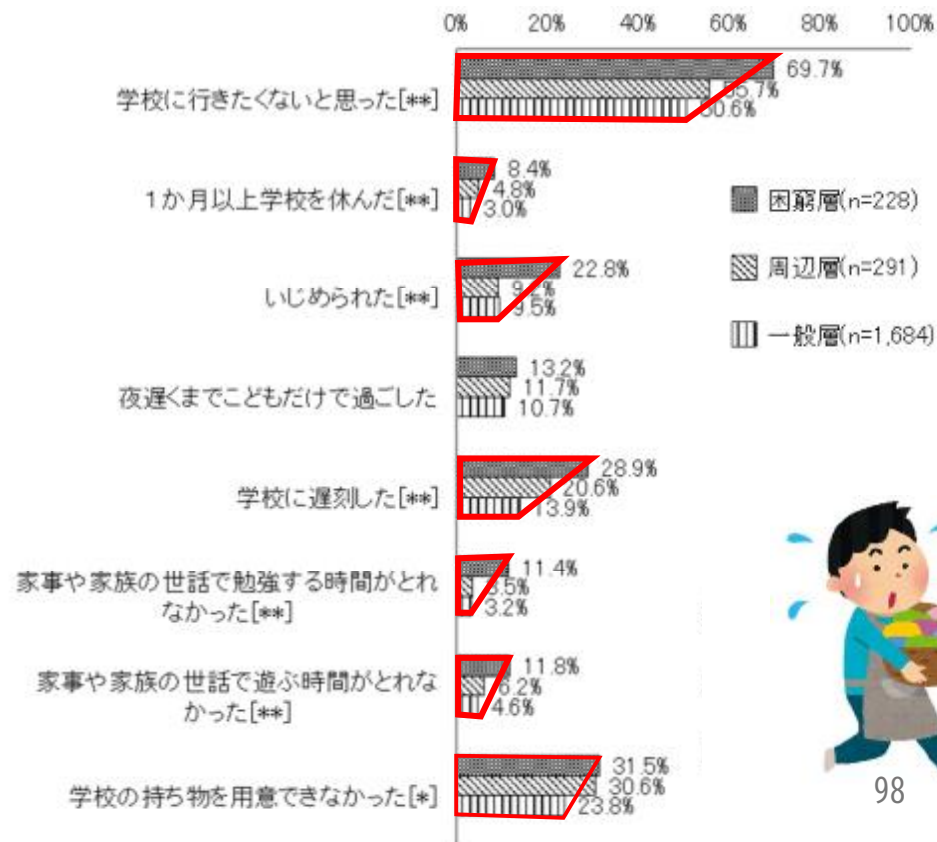
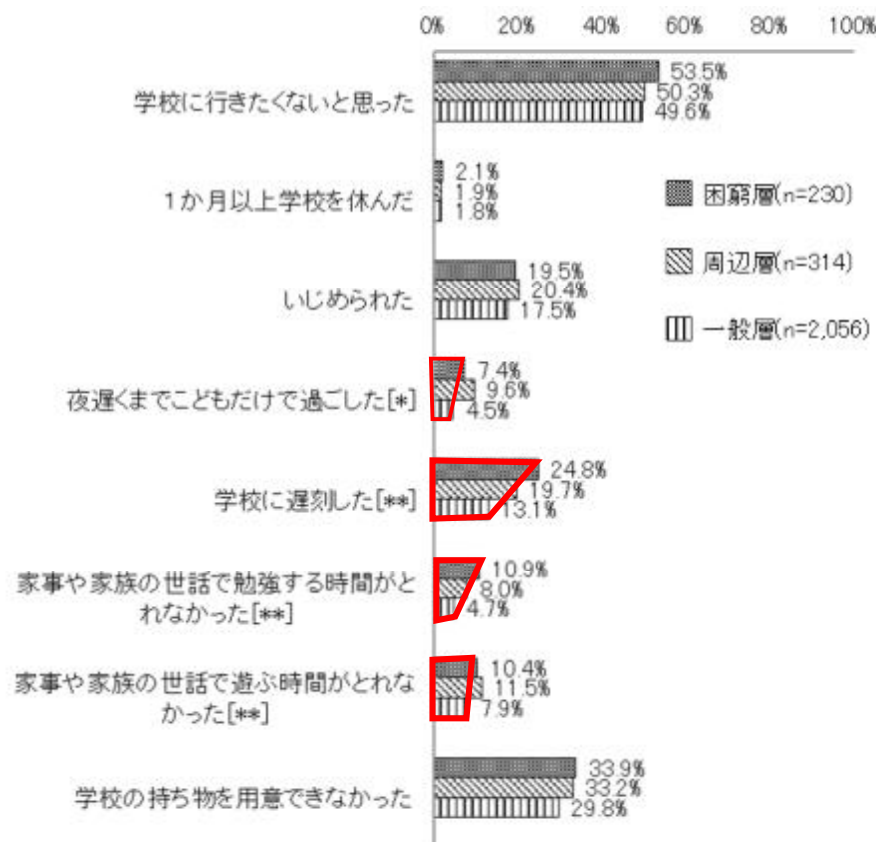


- 学校生活に関する悩み等は、小学生に比べ**中学生**において**生活困難度**による**差が大きい**。
- 特に**中学生**では、**不登校、いじめ、ヤングケアラー傾向**等への項目において、一般層に比べ**困窮層**の割合が**高い**。

<小学生>

※「よくあった／時々あった」の割合

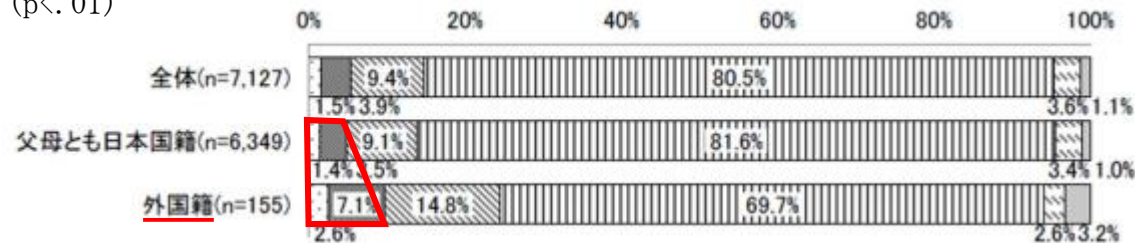
<中学生>



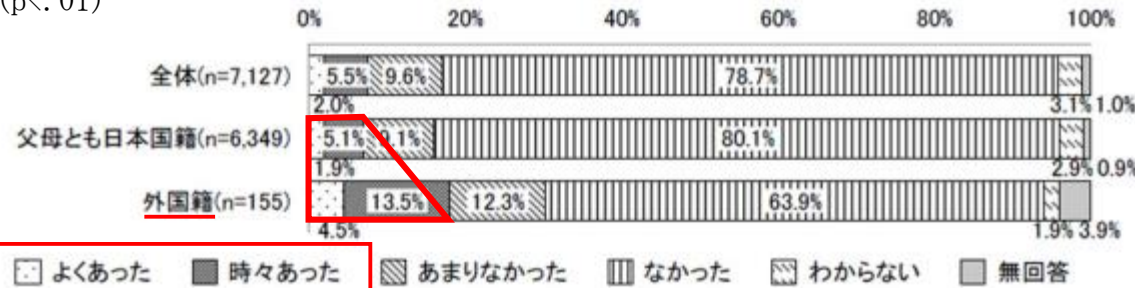
【+α】保護者の国籍とヤングケアラー傾向

- 保護者が**外国籍**の場合、
こどもが「**家事や家族の世話で勉強・遊ぶ時間がとれなかった**」
と回答した割合が**高い**。
⇒外国ルーツの家庭では、こどもが**ヤングケアラー**的状況に置かれやすい可能性

保護者国籍別 家事や家族の世話で「勉強する」時間がとれなかった
($p < .01$)



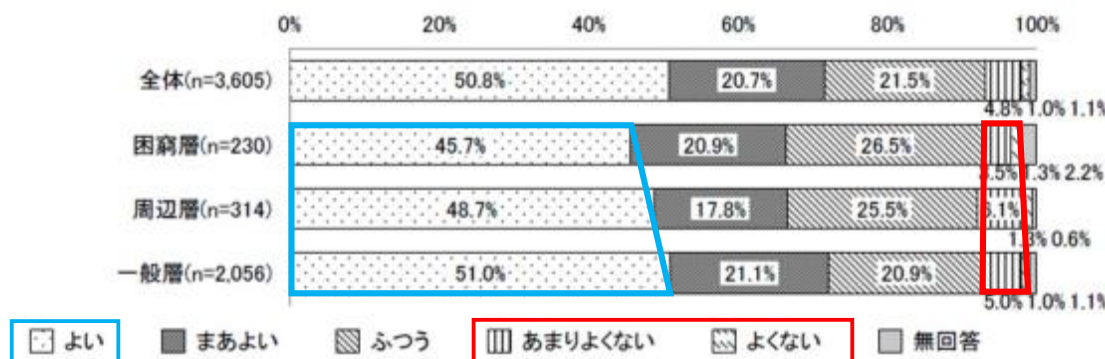
保護者国籍別 家事や家族の世話で「遊ぶ」時間がとれなかった
($p < .01$)



(こどもから見た) こどもの健康状態

- 中学生では、一般層に比べ**困窮層**において、
こどもから見た**こども(自分)の健康状態**を「よい」と回答した割合が**低い**。
⇒ 「あまりよくない／よくない」とした割合が**高い**。

<小学生> (有意差なし)



<中学生> (p<.01)

